

# 特定非営利活動法人 霞ヶ浦アカデミー平成20年度総会議事録

開催日時:平成20年6月29日 16:00~16:40

開催場所:霞ヶ浦ふれあいランド水の科学館 多目的ホール

茨城県行方市玉造甲 1234

会員数 21名

出席者の氏名(計20名)

当日出席者氏名(16名)

荒井一美、尾崎遼平、菊地章雄、木村陽一、瀬川正明、野口淳夫、濱田篤信、  
宮内徳次、田中健太、外岡健夫、**野原小右二**、**小沼民明**、**関野ケイ**、**前田成子**、  
**浜田肇子**、**合田寅彦**

表決委任者氏名(4名)

岩波嶺雄、**菊地**、**関**、近藤

(太字は、今回入会された方)

## 1 開会の辞(菊地章雄)

## 2 理事長あいさつ(荒井一美)

ご参加のみなさまには、午前中には雨の中を水辺まで足を運んで魚とりにご協力いただきありがとうございました。また、午後からは「霞ヶ浦アカデミーの研究発表会」にもご参加いただき、活発な議論に加わっていただきありがとうございました。

研究発表もそれぞれの団体の特徴がよくでた素晴らしい発表ばかりでした。発表をいただいた各団体の方々にも御礼申し上げます。

当団体は2007年10月14日に設立総会を開き以後法人化の手続き等準備期間をへて2008年4月から正式に活動を始めたところであります。正式には来年に総会を開催すればよいわけですが、本団体の活動内容をみなさまにご披露し十分理解していただき一緒に活動をやっていきたいということで、今回、午前中の「魚をとって、調べて、食べてのイベント」や午後の「研究発表会、霞ヶ浦アカデミーと仲間たち」を企画し次第です。

最近、マスコミで数々の不祥事が報道されます。その原因は、いろいろあるでしょうが大切なのは、NPO 霞ヶ浦の活動を地域の人々、関連団体あるいは行政と手を携えておこない社会に貢献できるようにとくんでいくことだと考えております。

まだ、事業計画や予算も十分ではありませんが、せひ、ご議論いただき活動の内容を深めていきたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

## 3 定足数確認

事務局長:従来、会員数13であります、本日8名の入会がありましたので合計21です。

本日出席者数16、委任状4  
を含め出席総数20です。

議長:会員数21、出席者数20で総会は成立しておりますので早速議事に入ります。

議事録署名人は、事務局で案がありますか。

事務局:今回は尾崎遼平さんと菊地章雄さんになっています。

議長:それでは、そのようにお願い致します。

議事に入ります。まず、平成19年度事業報告および収支決算報告について事務局説明願います。

事務局:茨城県へ提出した事業計画・予算案では19年度については準備期間であり準備作業だけを行うということになっていたが、実際には生き物アカデミー、調査事業等を行い若干の収入と支出があったので報告する。(別紙により説明)

#### 別紙により説明

議長:ご意見・ご質問がありますか。

宮内: 水質調査で濃縮毒性調査をやっているが、今後、それにお要する機器をそれえるのか。どの程度の予算が必要か。

事務局:この水質分析にはまず場所を確保しなくてはなりません。現在、観光協会等と調整をすすめ、7月中には決まると思います。

予算は、150万ぐらいと書いていますが、簡易な方法もあります。現在、助成金申請中なので決まればそれに要する機器の整備は必要になると思います。

議長:他になければ監査報告をお願いします。

宮内徳次監事:平成19度における会計書類、帳簿、証拠書類および現金、預金を監査した結果、適正に処理されていたことを認めます。

議長:それでは、平成19年度の事業報告と収支決算について承認いただけますか。

それでは、次に平成20年度の事業計画および予算案について事務局で説明願います。

事務局: 別紙事業計画・予算案により説明

議長: まだ、十分に計画が具体化されていないところもありますが、ご意見を伺いながら進めていきたいと考えております。

いま、すぐでなくともご意見があれば随時、ご意見をお寄せ下さい。理事会は第3日曜、生き物アカデミーの後、午後1時から、「水の交流間たまつくり」で開いておりますので、ご参加いただければ幸いです。

その他でなにか、ないでしょうか。

それでは議事は、これで終了させていただきます。

閉会の辞(野口淳夫さん)

以上、この議事録が正確であることを証すため、議長及び議事録署名人は、次に署名押印する。

平成20年7月 日

議 長 荒井 一美.

議事録署名人 尾崎 遼平

議事録署名人 菊地 章雄.

以上